

4月保健ガイド

母子保健・予防接種 問 子ども家庭課 ☎56-0210

| 内容(予は要予約) | とき | 対象(対は対象) |
|-----------------------|--|--|
| 親子健康手帳交付 | 9日(火) | 10:00 集合 妊婦 |
| | 26日(金) | |
| 予パパママ教室(1回目) ※定員9組 | 25日(木) 10:00受付 ~11:00終了予定 | 主に妊娠6か月頃までの初妊婦とその夫 |
| 予パパママ教室(2回目) ※定員9組 | 20日(土) 9:15受付~11:30終了 | 主に妊娠7か月以降の初妊婦とその夫 ※3日前までに予約がない場合は中止 |
| 予離乳食教室 | 12日(金) 10:00~11:15 | 主に第1子(4~5か月)をもつ保護者 (乳児同伴可) |
| 妊婦訪問 | 訪問は予約制です。(希望者は保健センターへ連絡してください) 妊婦(訪問は妊娠中1回) | |
| こんにちは赤ちゃん訪問 | 3~4か月児健診受診前 すべての赤ちゃんとその保護者 | |
| 妊産婦歯科健康診査 | 予約してから、市内委託医療機関で受診してください 妊婦と産後1年未満の産婦 | |

| 市内委託医療機関で予約 | 対 | 接種対象 |
|------------------|--|----------------|
| 予ロタウイルス | 1価ワクチン 出生6~24週 | 5価ワクチン 出生6~32週 |
| 予B型肝炎 | 対 生後1歳未満 | |
| 予ヒブ、小児用肺炎球菌 | 対 生後2~60月に至るまで | |
| 予4種混合、5種混合 | 対 生後2~90月未満 | |
| 予BCG | 対 生後1歳未満 | |
| 予麻しん・風しん混合(MR) | 対 第1期 生後12~24月未満 第2期 小学校入学前の1年間 | |
| 予水痘 | 対 生後12~36月未満 | |
| 予日本脳炎 | 対 1期 生後6~90月未満 2期 9~13歳未満 救済制度により対象以外で接種可能な場合あり | |
| 予二種混合 | 対 11~13歳未満 | |
| 予HPV 2価・4価・9価 | 対 小学6年生~高校1年生の女子 救済制度により対象以外で接種可能な場合あり | |

成人保健・予防接種 問 健康推進課 ☎63-3300

| 医療機関 で予約 | 市内委託 医療機関 | 予 | 対 | 接種対象 |
|-------------|--------------|----------|---|------------|
| | | 予高齢者肺炎球菌 | 対 | 65歳以上66歳未満 |

その他お知らせ

| 納期限(4月30日) | | |
|-------------|-----|-----------------|
| 税目 | 納期 | 問合先 |
| 固定資産税・都市計画税 | 第1期 | 収納課 ☎56-0610 |
| 介護保険料 | 第1期 | 長寿課 ☎56-0613 |

口座振替の人は、納期限の日に引き落としますので、残高を確認してください。

| 日曜・祝日の受診は | |
|---------------------------------|--|
| 東名古屋医師会休日急病診療所 ☎0561-73-7555 | |
| 診療日時 | 日曜・祝日・年末年始 9:00~16:30 (昼休憩1時間あり) |
| 診療科目 | 内科・小児科 |
| 所在地 | 日進市蟹甲町中島22 |

| 急な病気・ケガの時は | |
|-----------------------------|--|
| 救急医療情報センター ☎0561-82-1133 | |

24時間365日対応可。症状に応じてその時診療できる最寄りの医療機関を案内。


| 愛知医科大学病院 時間外診療 | |
|----------------|--|
|----------------|--|

救急でかかりつけ医が開いていない場合、診療を受けることができます。まず、電話で相談してください。
☎0561-62-3311(代表)

なお、時間内、時間外問わず、紹介状なしで受診する等の場合、選定療養費が必要になることがあります。詳細は愛知医科大学病院へ問合せください。

まちの保健師

保健師がさまざまな場所に出向き、健康相談をお受けします。詳細は市HPへ。



ドクターからあなたへ 重症アトピー性皮膚炎の新しい治療 すみとも皮膚科 住友 千穂

アトピー性皮膚炎は、かゆみを伴う湿疹の症状が良くなったり悪くなったりを繰り返す特徴があり、治療を続けていても症状が落ち着かず、睡眠が浅くなって日中の集中力が維持できなくなってしまうなど、さまざまな形で生活の質を低下させてしまう要因になります。

子どもの頃からアトピー性皮膚炎に長年悩まされていたり、大人になってから突然発症したりした方も増えている中、高い有効性が認められた新薬が次々と開発されて注目を集めています。しかしこれまで、12歳未満の方にこれらの新薬の適応がなく、小児の重症アトピー性皮膚炎の治療が難渋するケースがありました。

そんな中でついに、2023年9月注射薬デュピルマブの小児適応が承認され、生後6か月以上のアトピー性皮膚炎患者さ

んに使用可能となりました。デュピルマブは2018年に承認された新しいアトピー性皮膚炎治療薬で「炎症」「かゆみ」「バリア機能の低下」の原因と考えられるサイトカイン(IL-4、IL-13)を直接抑え効果を発揮します。

適応となる方

- 既存治療で効果不十分な中等症から重症のアトピー性皮膚炎の方
- 生後6か月以上の方

長年、かゆみ・赤みに悩んでいらっしゃる小児の方やそのご家族に、笑顔と希望を届けられる治療と期待されています。難治性の重症アトピー性皮膚炎にお悩みの方はぜひご相談ください。